

分科会で熱心な討論と経験交流

東京土建本部大会2日目の午前中は、聚楽と川良の2つのホテルで、11の専門部ごとの分科会を行いました。分科会では、昨年度の運動を総括するとともに、支部・分会のすぐれた取り組みを交流し、その経験や工夫を全

貸金対策分科会

議長…小島 (明(墨田))
〃…織田 (一(杉並))
書記…高取 (二三(杉並))

請求要求が運動の基本

年収600万円は最低限



織田議長

参加者は、代議員35人、代議員以外の参加者19人、来賓1人の合計55人でした。松本貸金対策部長のあいさつで「貸金は一番求められる課題。払う側、もらう側双方にいい結果を求めていきたい」の後、本部から松丸委員

長が「貸金運動は請求要求運動。声をあげることが重要」とあいさつしました。議案提案後、足立が公契約制定後の取り組みを、板橋が他支部の経験に学んだ運動を、八王子が市発注現場訪問実践・教訓とデータを活用した対話行動を報告、小平東村山貸金対策部長は、自ら会社交渉し処遇改善獲得の経験を報告しました。

続いて、本部PALの林会長が「PAL運動の一層の発展のため、現場で働く仲間の情報と結果が重要。力をあわせて頑張ろう」と訴えました。質疑応答では、建設キャリアアップシステムでの資格と賃金、処遇改善員体策、高齢熟練工の処遇、支部の実務負担の質問に、「資格が多いから賃金が上がるのではなく、技能と経験がしっかり反映する仕組みとしていきたい。高齢者が排除されないよう全建総連、都連にも要望して行く」、「パイロット支部4支部で状況把握。本部としてしっかり課題整理し対応」と答弁。



貸金対策分科会で冒頭にあいさつする松本久人貸金対策部長

町場の貸金運動への要望に「職域対策部や技術対策部と連携し、経営支援や技能支援し、受注環境を整え賃金単価改善につなげていきたい」、町場の法定福利費確保は「原則は一人ひとりがしっかりと見積もりにのせて、理解を求めていくこと。組合は、消費者や行政、業界に法定福利費が当たり前の制度であることを宣伝し、仲間が区別、差別されないようすすめる。地道な運動で請求要求をしていくしかない」と答弁。

年収1000万円の要望に、「600万円は他産業なみの賃金水準、最低限の生計費。それ以上を要望していくのが当然」との答弁がありました。最後に拍手で議案を仮承認しました。

仕事対策分科会

議長：後藤英雄 (葛飾)
〃：亦野茂人 (江戸川)
書記：中村安彦 (江戸川)



仕事対策分科会で質問する杉並支部の仲間

仕事対策分科会には参加代議員37人、代議員以外の参加者は18人、来賓1人の合計56人でした。



亦野議長

職域防衛と受注強化 東京土建建設で議論が白熱

はじめに芳井仕事対策部長よりあいさつ。本部役員を代表して白滝書記長よりあいさつがありました。来賓として徳森全建総連住宅対策部長のあいさつ後、議案提案を行いました。総括では、安心安全まっすぐりや、職域防衛、リカゴの活動など報告されました。

提案後、質疑討論へ移りました。

支部経験報告では、①世田谷支部「世田谷区産業レジヨン・産業振興計画に向けた取り組み」、②目黒支部より「支部住宅デパートと住宅センターについて」③調布支部より「住まいの相談センターについて」の三つの経験報告を受けました。続いて、2018年度方針として、①職域対策活動を進めるため職域防衛と受注対策を整理・強化、②第41回住宅デパートの取り組みを、住宅相談の充実をはじめ5目標全分会達成を目指す、③安心安全のまちづくり活動の前進、④自治体・国に対する制度要求運動、⑤住宅センター活性化と共同受注組織の検討、⑥リカゴの会員拡大と事業の充実などが提案されました。

今回の議案は2年間の検討を踏まえ、「検討を続ける」ことの提案であり、各支部の意見をしっかりと受け止めて丁寧に議論を重ねていきたい、また、仕事対策部を職域対策部に変更することを確認。

討論のまとめを島原共同受注委員長が行ない、総括・方針満場一致で採択されました。

持ち帰り取り組む 活発さにあらためて感心

【目野・大工・奈良晴義記】

昨年中央執行委員を退任し、11年ぶりに支部代議員として参加しました。大会は、毎年活発な意見質問が出て、代議員みんなが真剣に大会に挑ん

でいます。やっぱり東京土建はすごいなと思っています。選挙に批判的な意見もあると思いますが、私は元気があつていいなと思います。大会で決定したことを支部に持ち帰り、支部の運動としてしっかりと1年間取り組んでいき

【清瀬久留米・硝子・長谷川重之記】16年度から分会長



長谷川さん

を任されて、様々な分会に参加するようになりました。初年度は初めてのことでばかりで吸収するので一杯でした。2年目には色々と考え、感じるものが多くなりました。分会は大変意味のある企画だと思います。分会を先

に行ない、質疑応答の後に議案報告を行なつてはどうでしょうか。その方が、流れが良いようにも思えます。



奈良さん

大会に参加した仲間たちの感想

特別代議員は、分会長等の各支部執行委員を選出した方がよいのでは。支部執行委員会で決定事項の伝達で討議の時間が少なく、このような機会に様々な疑問に回答をもらいたい。このように思う組合員は少なくないでしょう。何をやっているかを伝える良い機会になると思っています。経験の少ない組合員の思いを考えてみてください。